

教科目名 情報処理 I (Information Processing I)

学科名・学年 : 制御情報工学科 1年

単位数など : 必履修 2単位 (後期2コマ, 学習保証時間 42時間)

担当教員 : 轟 浩二

授業の概要		
C言語による基本的なプログラミングについて学ぶ。C言語の基本的な文法を習得し、各自が簡単なプログラムを作成することにより、処理の流れ、アルゴリズム、流れ図について理解し、ソフトウェア開発の基礎力を養う。授業は、講義と演習をセットとし、講義で習った内容を演習で行うことにより理解を深める。		
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標(c) (d1②)
(1) C言語における文法とプログラミングの流れを理解する。(定期試験と課題) (2) 学習したC言語の文法を用いて、プログラムを作成する方法を学ぶ。(課題) (3) アルゴリズムについて理解するとともに、効率的なプログラム方法を習得する。(定期試験と課題) (4) プログラムの処理の内容を、流れ図で表現および理解できるようにする。(定期試験と課題)		
回	授 業 項 目	理 解 度 の 自 己 点 検
1	C言語開発環境および教育システムの基本操作習得	【理解の度合い】
2	データの型、変数と定数、データの表示	
3	演算、データ入力	
4	配列、文字列	
5	プログラムの制御 (反復)	
6	プログラムの制御 (選択)	
7	総合演習 (前期のまとめ)	
8	後期中間試験	【試験の点数】 点
9	後期中間試験の解答と解説	【理解の度合い】
10	流れ図	
11	反復と選択の組み合わせ	
12	ポインタ演算子	
13	配列とポインタ	
14	関数	
15	後期期末試験	【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説	
履修上の注意	・講義の途中でわからなくなったら、何時でも質問してよいことにする ・プログラム作成能力は、自分で作成したプログラムの数だけ身に付く。 与えられた課題は、必ず自分自身でプログラミングし、自宅でもしっかり復習する。	【総合達成度】
教科書	高田 美樹 著、「改定新版 C言語スタートブック」、技術評論社。	
参考図書		
関連科目	情報リテラシー、情報処理II	
総合評価	達成目標の(1)~(4)について、定期試験と課題(レポート、小テスト)で評価する。定期試験の成績(50%)および課題の評価(50%)を合計し、その合計から、出席状況・授業態度により20%を上限とした減点を行い、これを総合評価とする。単位取得条件は、総合評価が60点以上とする。	【総合評価】 点